

## チュートリアルセミナーのご案内

応用統計学会では、日本計量生物学会と合同でチュートリアルセミナーを企画しております。奮ってご参加ください（チュートリアルセミナー参加費は年会参加費とは別ですのでご注意ください）。また、最新の情報は応用統計学会年会特設 HP (<https://applstat.ywstat.jp/>) にてご案内します。

1. 日時：2025年5月16日（金）午後
2. 開催方式：ハイブリッド開催（現地開催＋ライブ配信）（予定）
3. 現地会場：富山国際会議
4. 定員：現地参加 300 人，Zoom Webinar 500 人
5. 参加費：

本学会員	2,000 円
日本計量生物学会員	2,000 円
非会員	4,000 円
学生（会員・非会員とも）	1,000 円

6. テーマ：一般化ランダムフォレストの理論と因果効果推定への応用  
内容：

木構造を用いたデータの分析（決定木・回帰木）は可視性と解釈容易性の観点から広く利用されている手法である。また、決定木を弱学習機とするランダムフォレストは、Breiman (2001) で提案されて以来、分野を問わず予測・判別タスクにおいて広く利用され、高い精度を示してきた。近年、causal forest が Athey and Wager (2019) 提案され、一致性と漸近正規性が示されたことにより、統計的因果推論の分野でランダムフォレストは高い注目を集めている。本チュートリアルでは、まず一致性や漸近正規性を持つランダムフォレストがどのような理論的背景のもとで構成されるのかについて説明する。次に、ランダムフォレストを用いて局所推定方程式によって定義されるパラメータ推定の手法である、Generalized random forest (GRF) について事例を交えつつ解説し、GRF の因果効果推定への応用である causal forest や、causal survival forest (Cui, 2023) などについても説明する。時間が許せば、変数重要度の理論的な背景についても解説する予定である。

講師：  
中村 知繁（順天堂大学）

申し込み方法：応用統計学会年会特設 HP (<https://applstat.ywstat.jp/>) からお申込みいただけます。